

# まつもとの 七夕

2019

松本まるごと博物館連携事業

松本の市内各所で、  
七夕人形と出会えます！

松本地方では、七夕人形を軒先に飾るといって全国でも珍しい風習が江戸時代から続いています。また行事食として受け継がれているほうとうやまんじゅうなど、松本地方独特の七夕の風景を、松本まるごと博物館で紹介いたします。各施設及び中心市街地などの連携で、松本のまちが七夕で染まります。

令和元年  
7月6日(土)～8月12日(祝)  
6館で開催!

1

松本市立博物館  
松本市丸の内4-1  
TEL.0263-32-0133



まちなか展示



松本の七夕

2

松本市はかり資料館  
松本市中央3-4-21  
TEL.0263-36-1191



町屋で楽しむ七夕さま



松本の七夕

3

重要文化財馬場家住宅  
松本市内田357-6  
TEL.0263-85-5070



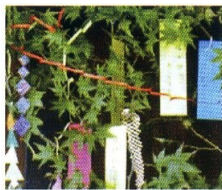
古民家で楽しむ七夕さま



松本の七夕

4

松本市安曇資料館  
松本市安曇3480-2  
TEL.0263-94-2134



紅葉の七夕飾り



松本の七夕

5

窪田空穂記念館  
松本市和田1715-1  
TEL.0263-48-3440



星に願いを



松本の七夕

6

松本市歴史の里  
松本市島立2196-1  
TEL.0263-47-4515



木下尚江生家で楽しむ七夕さま



松本の七夕

★8月3日(土)～7日(水)に来館された方限定!  
「七夕はくぶつ缶バッジ」をプレゼント!

期間中それぞれの博物館では上記の缶バッジをプレゼントします。  
博物館を周って織姫と彦星を会わせてあげましょう。

※数に限りがございますので、すべての館で「チラシを見た」「ホームページをみた」と受付でお申し出いただいた方のみプレゼントします。



松本まるごと博物館

URL <http://www.matsu-haku.com/>



令和元年7月6日(土)～8月12日(祝) 6館で開催!



七夕の縁側(馬場家住宅)



町屋の七夕(はかり資料館)



まちなかの七夕人形(中心市街地)



空穂生家の七夕人形(窪田空穂記念館)



紅葉の七夕飾りを作ろう(安曇地区)



木下尚江生家の七夕人形(歴史の里)

## 松本市立博物館

### 「まちなか展示」

月遅れの七夕にあわせて、博物館周辺の町会や商店街に紙の七夕人形を飾り、大名町通りを笹飾りで彩ります。

場所：中心市街地の商店街ほか

### 関連行事

#### ●年中行事シリーズ「ほうとうサービス」

協力:ボランティアグループ エムの会

松本では七夕にきなこや小豆あんをあえたほうとうを食べる風習があります。

日時：8月7日(水)午前10時～※ほうとうがなくなり次第終了

#### ●市民学芸員による七夕人形作り講座

簡単に作れる「七夕人形作りキット」を使って七夕人形を制作します。

日時：8月6日(火)、7日(水)

料金：通常入館料

(大人200円・小人100円)



## 重要文化財馬場家住宅

### 「古民家で楽しむ七夕さま」

江戸時代末期の古民家の中で、七夕人形のある縁側や、七夕行事の紹介を行います。

料金：通常入館料(大人300円・小人無料)

### 関連行事

#### ●七夕人形作り講座

本格的な「七夕人形作りキット」を使って七夕人形を制作します。

日時：7月7日(日)、8月7日(水)

午後1時30分～3時30分

料金：1,100円および通常観覧料

#### ●ほうとうサービス

日時：8月7日(水)午前10時～※ほうとうがなくなり次第終了

#### ●七夕の縁側を見てみよう

日時：8月7日(水)開館時間中



## 窪田空穂記念館

### 「星に願いを」

明治期の面影を伝える空穂生家で、七夕人形の展示を行います。記念館では七夕人形作りを随時開催!

料金：通常入館料(大人300円・小人無料)

## 松本市はかり資料館

### 「町屋で楽しむ七夕さま」

松本城下町の町屋で、七夕飾りを行います。

料金：通常入館料(大人200円・小人無料)

### 関連行事

#### ●ほうとうサービス

日時：8月7日(水)午前10時～※ほうとうがなくなり次第終了

## 安曇資料館

### 「紅葉の七夕飾り」

山里ならではの、紅葉に飾った七夕の様子を展示します。

料金：無料

## 歴史の里

### 「木下尚江生家で楽しむ七夕さま」

古い建物の雰囲気とともに楽しみください。

料金：通常入館料(大人400円・小人無料)



### 本洗馬歴史の里資料館 釜井庵(左写真)

表の図は、江戸時代の紀行家菅江真澄が天明2年(1783)に釜井庵を訪れた際に描いた「委寧の中路」所載のものです。釜井庵では、その様子を再現しています。

塩尻市洗馬2323-1 TEL.0263-54-5520

